



令和3年度那覇市立壺屋焼物博物館特別展
那覇市市制100周年記念事業/首里城復興応援企画



うちなー

赤瓦ものがたり

2021

11.2(火) - 12.26(日)

毎週月曜日休館／開館:10:00～18:00(入館は17:30まで)／会場:3階 企画展示室
本展覧会は「国立博物館収蔵品貸与促進事業」の特別協力を受けています。

主催：那覇市立壺屋焼物博物館
特別協力：一般財団法人沖縄美ら島財団
国立文化財機構文化財活用センター 東京国立博物館
協力：浦添市教育委員会 沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立博物館・美術館 鹿児島県立埋蔵文化財センター
高浜市立やきものの里かわら美術館 有限会社八幡瓦工場

那覇市立 Tsuboya Pottery Museum
壺屋焼物博物館

観覧料
無料



那覇市立壺屋焼物博物館では初めての沖縄の瓦の歴史を紹介する特別展です。沖縄の瓦が歩んだ独自の歴史、そして沖縄の瓦が赤をまとうまでの長い歴史を、県内外、国内外の東アジアの瓦資料と共に紹介します。

東アジア 6つの権力 6つの瓦 揃い踏み



上：17世紀湧田窯出土灰色瓦
下：19世紀壺屋窯産赤瓦
那覇市立壺屋焼物博物館所蔵



琉球国王
首里城出土牡丹文軒丸瓦
沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵



天皇 大宮御所関連 菊丸棟込瓦
東京国立博物館所蔵
Image: TNM Image Archives



▲鬼面軒丸瓦
琉球王国交易の中心地、那覇港渡地村出土 那覇市文化財課所蔵

半世紀ぶりの
一般公開

特別
展示



沖縄の瓦

をまとう

乾隆3年(1738年)
紀年銘赤瓦 個人所蔵

年号が書かれた沖縄最古の赤瓦



中国皇帝 黄釉竜文軒平瓦
高浜市やきものの里
かわら美術館所蔵



徳川将軍家 浅草米蔵瓦
東京国立博物館所蔵
Image: TNM Image Archives



▲1939年に建設され沖縄戦を生き残った武徳殿の瓦
那覇市立壺屋焼物博物館所蔵



朝鮮国王 龍文軒平瓦 韓半島
東京国立博物館所蔵
Image: TNM Image Archives



薩摩藩主 鹿児島城出土軒丸瓦
鹿児島県立埋蔵文化財センター所蔵



▲鉄製丸瓦 伝中国北京市房山区鉄瓦寺(永安寺)出土
東京国立博物館所蔵
Image: TNM Image Archives

クロス
トーク

「沖縄の瓦が歩んだ歴史とこれからの景観形成」

上原静氏(沖縄国際大学名誉教授)×伊良波朝義氏(NPO法人首里まちづくり研究会理事長)

文化
講座

「島国の瓦の歴史-日本造瓦史における沖縄瓦の位置づけ」 「琉球瓦の実像を探る ～研究の現在と課題～」

講師：鈴木久史氏(京都市文化財保護課 文化財保護技師) 講師：石井龍太氏(城西大学経営学部准教授)
11月27日(土) 12月11日(土)



那覇市市制100周年

いずれも要予約(先着順)。11月9日(火) 10時から電話にて予約受付開始。098-862-3761
関連イベントの詳細については博物館にお尋ねください。また、当館ホームページでも随時ご案内いたします。

那覇市立 Tsuboya Pottery Museum
壺屋焼物博物館

〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋 1-9-32
TEL 098-862-3761 FAX 098-862-3762
<http://www.edu.city.naha.okinawa.jp/tsuboya/>